テーマ：からだの中で何が起こっている？！～事象を解剖生理の知識で理解する演習～

カテゴリー：教育方法（授業・演習・実習など）

学校概要：鳥取県立倉吉総合看護専門学校　第２看護学科　　所在地：鳥取県倉吉市南昭和町１５

課程名：２年課程　　１学年定員数：２０名　　修業年限：２年

新カリキュラムで新設「解剖生理演習」（15 時間）

到達目標　1. 既習の解剖学、生理学の知識を活用し、症状や病気によるからだの変化を理解する。

2. 症状からからだの中で起きていることを説明できる。

⇒知識の理解を深化させること、他者へ分かりやすくプレゼンテーションすることを目指し、演習を組み立てた。

事前学習（正常な構造・機能の整理）
1. 血中酸素濃度の調節
2. 血糖値の調節
3. 尿量の調節

グループワーク課題（事象の理解）
1. SpO_2の低下が起こるのはなぜ？
2. 血糖値が低値/高値となるのはなぜ？
3. 尿量が減少するのはなぜ？

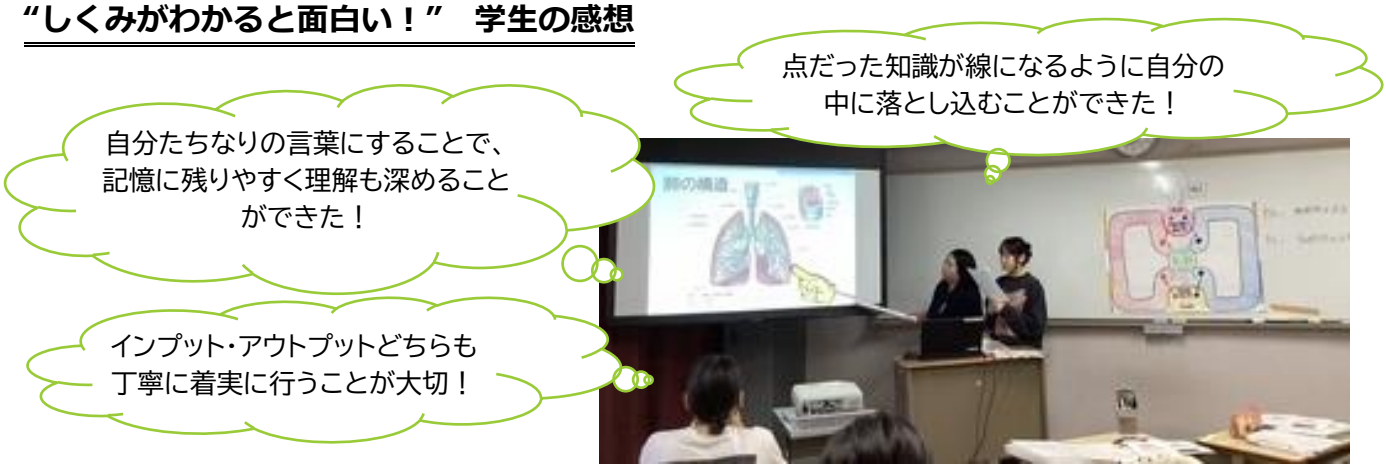


＜演習で考慮したこと＞

◇少人数グループで、じっくり理解を確認しながら進める。

◇プレゼンテーションを検討する過程で正常と事象との関連の理解を深める。

“しくみがわかると面白い！”　学生の感想



◇学生は自己学習ノートに、演習で新たに分かったことや調べたことを追加していた。演習を通して事象の要因と臓器の構造・機能を関連付けて理解を深めていく様子が伺えた。

◇プレゼンテーションを検討する過程で理解が不十分な部分が明確になっていた。また、“伝わるプレゼンテーション”を組み立てていく難しさを感じつつも、プレゼンテーションでは興味を引き、理解が深まるよう媒体の工夫もしていた。